

2016 高校生国際理解セミナー

～ベトナムから見た日本・日本に来て感じたこと～



昨年末12月23日に、広島市青少年センターで高校生国際理解セミナーが開かれました。午前の部の講演では、「ベトナムから見た日本・日本に来て感じたこと」と題して、ベトナムから広島修道大学に留学している女子学生のグエン・ダック・キー・ドウエンさんと、グエン・ティ・タオ・ニユンさんが、日本とベトナムの生活・文化などの違いについて話し、戸惑いながらも日本の生活習慣に馴染んできた様子を紹介されました。

体験発表では、「広島市商ピースデパート10年間の取り組み」と題して広島商業高等学校の生徒4人が発表、「2016 広島市大邱広域市青少年交流事業報告」として事業参加者の広陵高校、修道高校、なぎさ中学校の生徒さんからそれぞれ発表がありました。

その後、広島大学附属中・高校の藤原隆範教諭指導の元、参加者が6班に分かれて「私の夢～こんな人に私はなりたい」といったテーマで意見を交換しました。

午前の部に参加した皆さんへのアンケートによると、9割を超える人が「新たな知識、技能を得たと思う」「学習意欲が高まったと思う」「満足した」と評価していました。

午後からは、市内八丁堀天満屋ビル前交差点の街頭で、コーアクション（世界寺子屋運動募金活動）を行い、「教育を受けられない世界の子どもたちへ募金の協力をお願いします」と道行く市民に呼び掛けました。

そして、この日に寄せられた募金76,438円は、12月26日に日本ユネスコ協会連盟あてに送金されました。